

国立大学等の最先端研究基盤の整備により、 研究環境の確保と、国土強靱化に貢献する

【対策】121 国立大学等の最先端研究基盤の整備対策

対策概要：国立大学や大学共同利用機関において、地震等の災害や気候変動への対応に備えた研究設備、医療等の国民生活を支える研究・情報インフラ等、国民の生活における安心・安全の確保や災害対策等に資する最先端の研究を支える基盤となる最先端研究設備等を整備する。

府省庁名：文部科学省

【事例】国立大学等の最先端研究基盤の整備対策による 国土強靱化への貢献

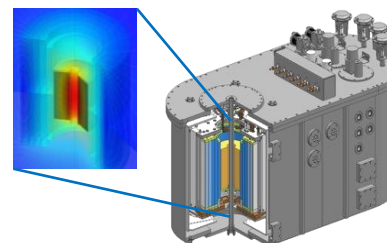
- 実施主体：国立大学法人東京大学等
- 実施場所：国立大学法人東京大学等
- 事業概要：国立大学や大学共同利用機関において、最先端研究設備を整備した。深発地震の発生メカニズムの解明、気候変動の研究から発展した災害対策、また、インフラ強化につながり得る材料の高機能化など、国土強靱化に資する最先端研究の基盤となる研究設備の導入を行った。
- 事業費：-
- 効果：最先端研究設備を整備することで、国内外の多数の研究者等が先進的な研究環境の下で研究活動を行うことができ、また、その研究成果が行政等の災害対策等に社会実装されることで国土強靱化が進み、**国民の生活における安心・安全の確保と向上が期待される。**

■mdx：データ科学・データ活用コミュニティ 創成のための情報基盤



データ処理、機械学習、シミュレーションなどでの大規模計算を可能とするデータ収集・集積・解析のためのプラットフォームを整備。より多くのデータを迅速に処理する能力を確保し、高性能化を行うことで、自然災害時の情報収集や共有、災害対策の迅速な実施・円滑化を実現し、国土の強靱化に寄与。

■強磁場コラボラトリー（33テスラ無冷媒超伝導磁石）



物質・材料科学研究の中核を担う、世界最高の強磁場科学研究基盤を整備。磁性材料の高機能化は、既存インフラの高機能化につながり、とりわけ超伝導材料等の社会実装は、陸海空交通ネットワークや電力供給ネットワークの革新等に及び、被災復興時はもとより、将来に向けた社会インフラのリプレイスと強靱化を推進。